

## 交通政策審議会港湾分科会環境部会第6回洋上風力促進小委員会

### 議事概要

#### ○日時

令和2年8月4日(火) 17時30分～19時00分

#### ○場所

WEB会議による開催

#### ○出席委員（五十音順）

大串委員（椋山女学園大学）、加藤委員（東京大学大学院）、來生委員長（放送大学）、  
清宮委員（早稲田大学）、中原委員（一般社団法人海洋産業研究会）

#### <オブザーバー>

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課 清水課長  
（代理出席：中西課長補佐）

#### <事務局>

国土交通省港湾局海洋・環境課

#### ○議題

海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾の指定について

#### ○議事概要

##### 1. 基地港湾を利用する事業者数の見込みについて

##### 大串委員

- ・ 2者以上の利用が見込まれることとして基地港湾を指定しているが、2区域で同じ事業者が選定された場合は1者扱いとなるのか。

##### 加藤委員

- ・ 2者以上の利用が見込まれることとして基地港湾を指定していることについて、指定の後に2者以上の利用がされなくなった場合にはどうなるのか。

##### 來生委員長

- ・ 2者以上が利用する見込みがあるという規定によって公共性を担保しているものと理解しているところ、1者となった場合はどうなるのか。将来的に洋上風力発電が成熟した後に需要が少なくなった場合、基地港湾の指定の取り消しについて検討することも考えられる。

## **事務局**

- ・ 2 区域で同じ事業者が選定された場合は 1 者の扱いとなる。
- ・ 港湾法において指定の事由がなくなった場合には基地港湾の指定を取り消すと定めているため、将来的に基地港湾の利用者が 1 者となった場合には、個別ケースに応じて判断する必要があるが、基地港湾の指定を取り消す選択肢も考えられる。

## **2. 基地港湾の整備について**

### **清宮委員**

- ・ 岸壁の地耐力に関し、8MW の風車を建設することを想定して 35t/m<sup>2</sup> を確保することについて、今後、より大きな風車を建設することとなった場合に耐えられるような地耐力であるのか。
- ・ 秋田港では SEP 船が着岸することを想定して岸壁前面の海底部分の強化を行う旨記載されている一方で、他の 3 港では記載がない。他の 3 港ではこのような整備を行う予定はないのか。

### **事務局**

- ・ 岸壁の地耐力について、今後 10MW や 12MW の風車を建設することとなった場合においても、荷重分散をさせるために鉄板を敷くなどの措置を講じることで対応できると考えている。
- ・ 秋田港では、SEP 船のレグを海底に打ち込んだときの安定性の確保を検証するための実証事業を行うこととしており、得られた情報を基に、他の港湾でも必要であれば検討を進めていく。

### **加藤委員**

- ・ 秋田港以外の事業期間が令和 5 年度までとなっていることについて、事業者が利用を開始する時期を考慮し、この事業期間は妥当なのか。

### **事務局**

- ・ 選定事業者の岸壁の利用開始時期は、環境アセスメントや設計等の後になるため、概ね令和 5 年以降と想定しているが、岸壁等の整備が完了していない時でも暫定的な一部利用ができる場合もあると考えている。

## **3. 事業者間の利用調整について**

### **清宮委員**

- ・ 3 者以上の事業者が利用することとなった場合、事業者が利用する岸壁等の確保はどのように行うのか。また、事業者間の利用調整は誰が行うのか。

### **中原委員**

- ・ 事業が円滑に進むためには、事業者間の面的な利用調整を上手く行うことが重要であり、実際のオペレーションを含めた利用調整の仕組みを構築して欲しい。

## **事務局**

- ・ 3者以上の事業者が基地港湾を利用することとなった場合においても、複数事業者が円滑に利用できるよう、国が十分に調整を行うこととしている。
- ・ 事業者との利用調整にあたっては、港湾管理者との連携を密に行い、円滑に事業が進むような体制を構築したい。

## **4. 今後の基地港湾の指定について**

### **清宮委員**

- ・ 来年度以降、新たな基地港湾の指定は行うのか。

### **事務局**

- ・ まずは、今回の4港の整備を進めることが重要と考えている。北海道から東日本の日本海側で促進区域や有望な区域等が多数集中しているため、将来的に今後の基地港湾のあり方について検討することもあり得るが、現時点において、来年度に直ちに新たな基地港湾を指定することは想定していない。

## **5. まとめ**

### **來生委員長**

- ・ 本委員会としては、事務局案のとおり能代港・秋田港・鹿島港・北九州港の4港を基地港湾に指定することに異議はないとする。